

令和3年度第1回北区地域公共交通会議

北区コミュニティバス (浮間地域ルート)運行案の概要について











目次

①これまでの振り返りについて

---- P2~10

②運行案の概要について

- ---- P11~20
- ③浮間地域住民説明会の実施結果について
 - ---- P21~22
- 4 今後のスケジュールについて
- ---- P23~24





①これまでの振り返りについて

■計画策定について



- ●令和3年3月に「北区地域公共交通計画」を策定しました。
- ◆本計画に基づき、各地域における地域公共交通への取り組みを継続的に行っていきます。

< 北区地域公共交通計画 本編>

< 北区地域公共交通計画 概要版 >





■計画策定の背景と目的



〔背景〕

- ●北区には、様々な公共交通が運行しており、北区の公共交通は全体として充実していますが、公共交通機能を向上すべき箇所があります。
- ●北区の地形的特徴として、高低差が大きく徒歩での移動に負担がかかる箇所があります。
- ●今後の高齢化の進展に伴い、誰もが安心して利用できる 日々の移動手段として、地域における公共交通の重要性は ますます大きくなるものと考えられます。

〔目的〕

● 「地域の公共交通の充実による移動手段の確保」を着実に 進めていくための計画です。

■北区の現状

〔公共交通ネットワーク(鉄道+路線バス+コミュニティバスの利用圏域)〕

○**鉄道、路線バス、コミュニティバスにより多くのエリアがカ バーされていますが公共交通機能を向上すべき箇所**が部分的に
残っています。



■公共交通に関わる今後に向けた課題



○公共交通機能の向上が必要な箇所の存在、人口減少、高齢化の 進展、地形の特徴を踏まえ、**地域公共交通等を充実し移動手段 を確保**することが、公共交通に関わる課題です。

公共交通の現状

基本的な公共交通として、鉄道・路線バスが充実し、多くの人に利用されている

それらを補完するコミュニティバス(Kバス)も、高齢者等の日々の暮らしに寄与している

現状の問題

公共交通機能の向上が必要な箇所がある

地域の現状

人口減少、高齢化の進展 世帯の構成等の変化 駅周辺等への多様な外出ニーズ 高低差による移動の負担

北区の公共交通の課題

●地域公共交通等の充実による移動手段の確保●

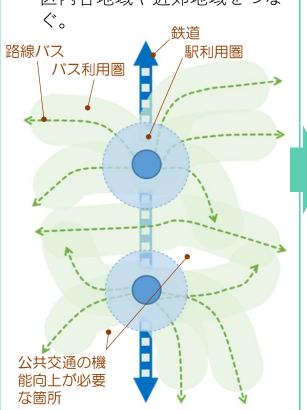
■北区の地域公共交通の考え方

City of Kita

○鉄道・路線バスが対応できない**公共交通機能を向上すべ き箇所**があるため、誰もが利用できる地域公共交通であるコミュニティバスを基本に導入していきます。

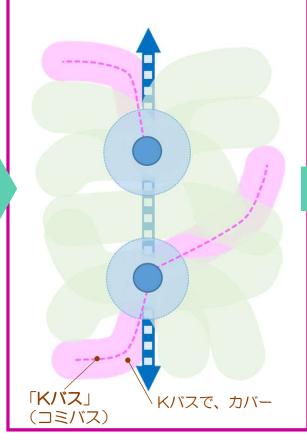
基本的な公共交通

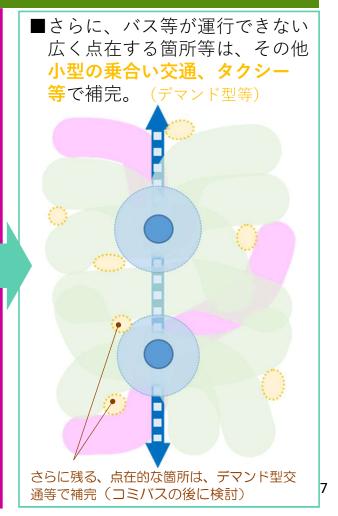
- ■南北に走る「**鉄道**」が基軸。
- ■概ね王子駅・赤羽駅・田端駅 に発着する「**路線バス**」が、 区内各地域や近郊地域をつな



地域公共交通

■区内の移動を**Kバス**(コミュニ ティバス)が補完。





■今後の取り組み施策



- ○公共交通に関する取り組みの基本的な方針を定め、それに 基づき3つの施策に取り組みます。
- ○3つの施策のうち「公共交通機能の向上が必要な地域へのコミュニティバス新規路線の導入」に向けた取り組みを中心に行います。

公共交通に関する取り組みの基本的な方針

●誰もが安心して快適に移動できるまちをめざし、地域公共交通の充実を図る。

取り組み施策1

公共交通機能の向上が必要な地域へのコミュニティバス新規路線の導入

取り組み施策2

小型乗合い交通やタクシー等による補完策の検討

取り組み施策3

地域公共交通の利用促進に関する継続的な検討・取り組み

■新たなコミュニティバスの導入計画



〔導入優先順位の考え方〕

- ○コミュニティバスの新規路線導入については、北区を7つの地域に分けて考えました。
- ○地域毎にルートの評価を行い、**新規路線の導入優先順位を設定** しました。

新規バスルート (7地域)の評価

○地域の優先度の評価(点数化)

○ルートの優先度の評価(点数化)



○「地域の優先度」及び「ルートの優位性」による総合点



○新規ルートの導入優先順位の設定

■新たなコミュニティバスの導入計画



〔新規ルートの導入優先順位〕

○「地域の優先度」及び「ルートの優先度」の評価の結果、**浮間** 地域から新たなコミュニティバスを導入してまいります。

	浮間	赤羽西	赤羽東	王子西	王子東	滝野川西	滝野川東
導入優先順位	1	2	5	6	3	4	7

*総合点に基づき、「導入優先順位」を設定。



■浮間地域の状況について



〔公共交通機能を向上すべき箇所〕

○浮間地域は鉄道のみ運行しており、**公共交通機能を向上すべき 箇所**があります。



■浮間地域の状況について



〔主要施設など〕

○浮間地域の主要施設は、公共交通機能を向上すべき箇所にも立 地しており、施設への**移動が困難な状況**です。



■新たなコミュニティバスの導入計画

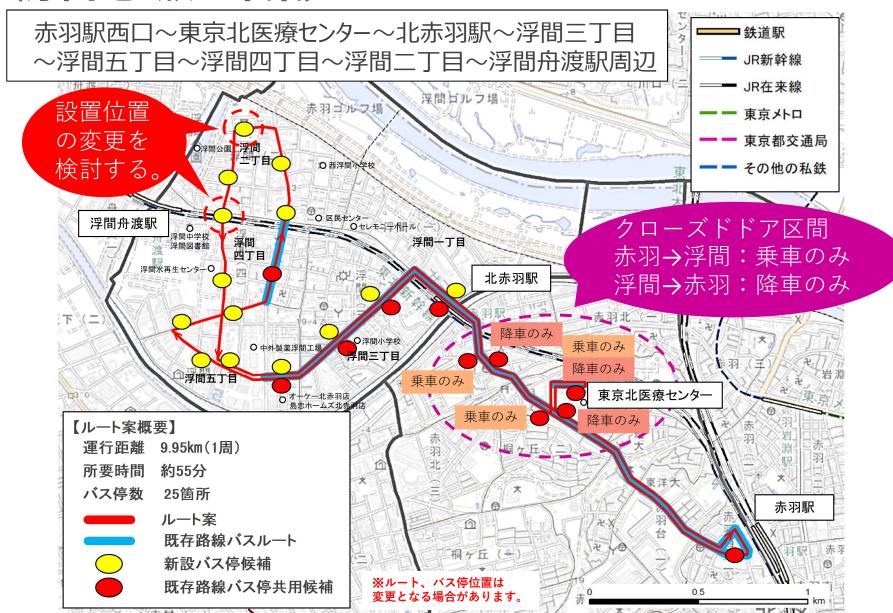


〔ルート案設定の考え方〕

- ○前述の**公共交通機能を向上すべき箇所の解消、主要施設へのア クセス性向上**のため、計画に示す以下の視点・条件等に基づき、 新規ルート案を検討しました。
- ○北区コミュニティバス導入の基本的な視点(コンセプト(可能なかぎり多くの人に役立つこと等))を考慮する。
- ○各地域〜主要な鉄道駅(赤羽駅)を結ぶ。
- ○なるべく利用が多く見込まれる施設等を経由する。
- ○現行のコミュニティバス(Kバス)と同様のバス車両、20分間隔の運行を基本とする。
- ○交通規制や道路幅員等の道路状況や、既存のバス路線に配慮(クローズドドア制)する。



〔浮間地域ルート案〕





〔運行案の概要(予定)〕

・運行間隔 概ね20分間隔で運行(予定)

·時間帯 概ね7時~20時(予定)

・バス運賃 100円 (シルバーパスは使用不可)

・バス車両 小型ノンステップバス

乗車定員36人(座席11、立席24、乗務員1)





車両イメージ(参考: Kバス)



·運行事業者

日立自動車交通株式会社(Kバス運行事業者)

[事業内容]

乗合バス、コミュニティバス、観光バス、タクシー、福祉バス 等を運行

コミュニティバスは北区(Kバス)を含み7自治体で運行

[経過]

7月 運行事業候補者の選定

10月 運行に関する覚書締結





〔利用促進策(検討中)〕

- ○浮間地域にお住いの方をはじめ、より多くの方々にコミュニ ティバスを利用していただけるように、以下の**利用促進策**の実 施を検討しています。
 - ・運行周知のための無料乗車日の検討

【一日乗車券】



- ·回数券、一日乗車券、定期券
- ・バスロケーションシステムなどによる利便性向上
- ・ホームページにおける運行地域周辺等の情報発信

■新規路線導入の進め方



〔実証運行による継続・見直しの考え方〕

- ○コミュニティバスの新規路線については、実証運行を行い、継続、見直しの判断をします。
- ○運行継続の可否は、基本的に、事業性によって判断されること から「**収支率**」を指標とします。
- ○運行方法見直し等を行う場合は、見直し検討・申請手続き・実証運行・評価等のために、相応の期間を要するため、**最大・連続3年**とします。

(収支率の目標①) *本格運行の目標 50%以上

(収支率の目標②) *当面の目標 40%以上

(「当面の目標」が達成できない路線で、運行方法見直しや 利用促進策を講じながら実証運行を継続する年数)

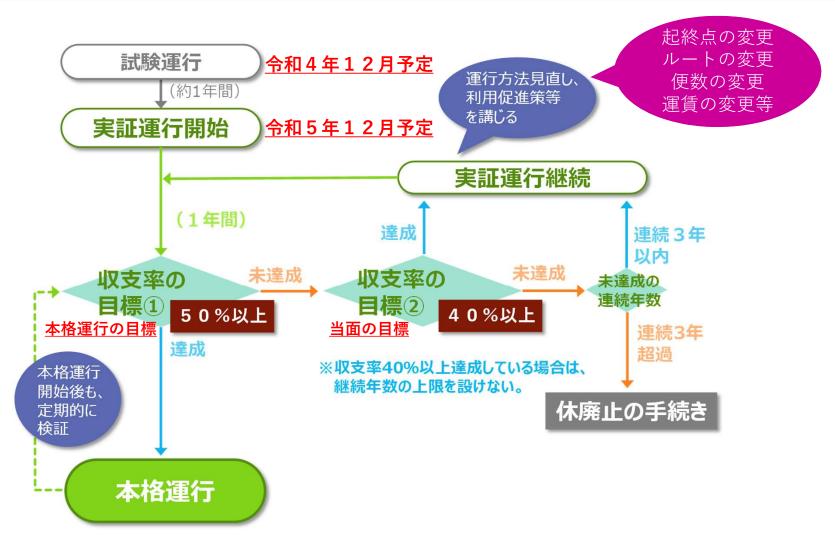
未達成年数 最大•連続 3 年間

■新規路線導入の進め方



〔実証運行による継続・見直しの考え方〕

○「本格運行の目標」と「当面の目標」に基づき、以下に示す流れで、運行継続・見直しの判断を行います。





③浮間地域住民説明会の実施結果について

■浮間地域住民説明会(実施済み)



○浮間地域を対象に、「北区コミュニティバス (浮間地域ルート)運行案の概要について」 説明会を実施しました。

〔実施概要〕

〇日時:令和3年12月18日(土) 14:30~15:30

12月20日 (月) 19:00~20:00

○場所:浮間ふれあい館3階第3ホール

○参加人数:48名(両日合計)

○内容:北区コミュニティバス (浮間地域ルート)

運行案の概要について

〔主な意見〕※詳細「説明会意見概要」(資料6)参照

- ○ルート及びバス停に関する意見(11件)
- ○運行間隔に関する意見(3件)
- 〇収支率に関する意見(2件)
- ○資料に関する意見・その他・感想(7件)



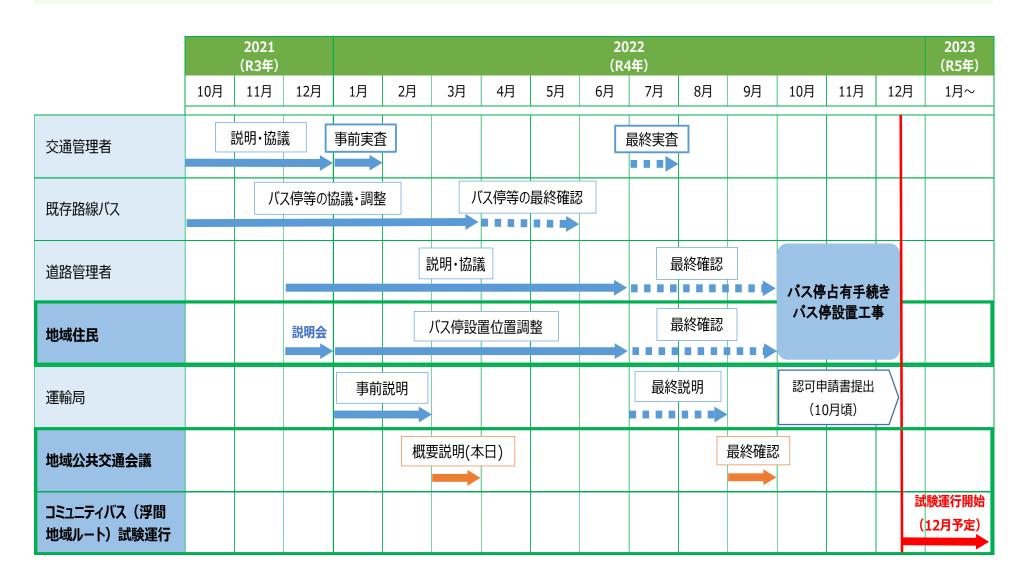


4 今後のスケジュールについて

■新規路線の導入スケジュール



○試験運行までのスケジュールは以下のとおりです。











ありがとうございました。